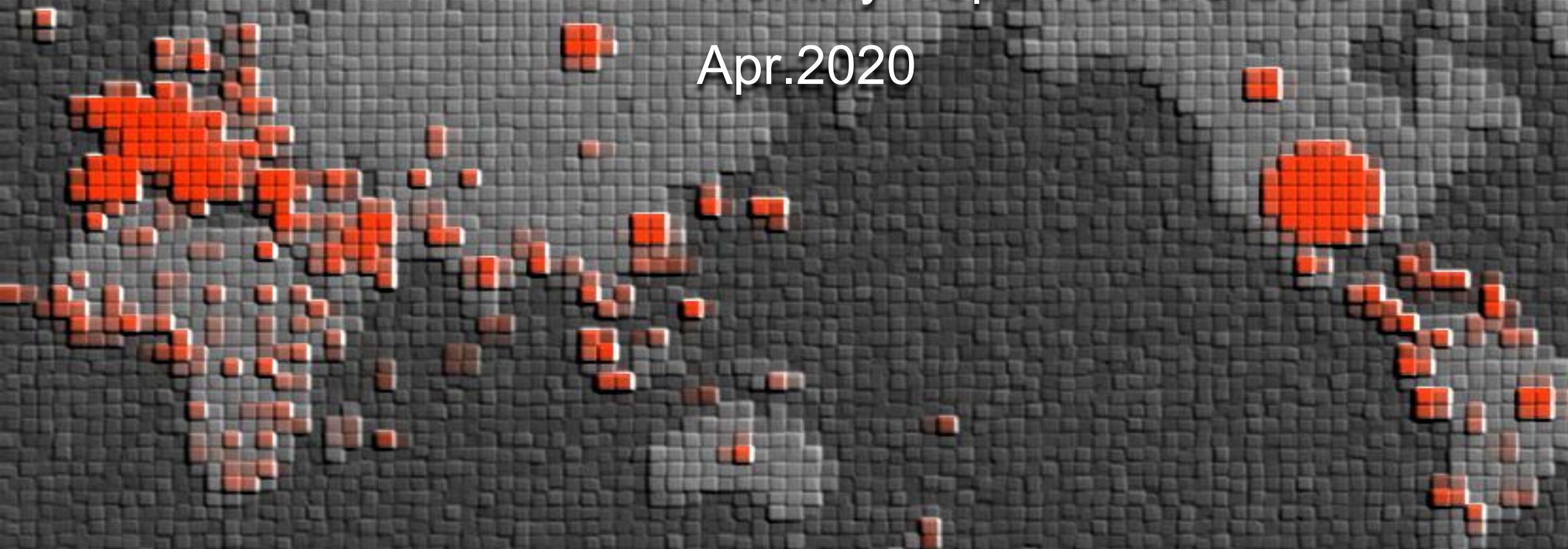


SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Apr.2020



INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

以前、「アース・オーバーシュート・デー」（人類による自然資源の消費が、地球が持つ一年分の資源の再生産量とCO2吸収量を超えた日を意味する）の到来が早まっている危機について触れた。今、異なる現象による「オーバーシュート」の危機が我が国を脅かしている。“新型コロナウイルス「COVID-19」”である。ウィルスという目に見えない脅威にSNSによるデマや憶測が拡散され不安や恐怖は倍増する。生活環境が一変しSNSによる繋がりを求める方も増えてくるであろう。不安や恐怖の根幹を克服するための英知が共有され、皆の心の豊かさが促進される場であってほしいと切に願う。

サンシン電気株式会社 取締役
加来 孝

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

現在、世界的に影響を与えている新型コロナウイルス。全国で緊急事態宣言が発令される異例の出来事もあり、私達の生活全般に影響を及ぼしているのではないのでしょうか。そのような中で生まれた言葉が「コロナ禍(ころなか)」です。「禍=災難・災い・不幸」の意味があり、新型コロナウイルスがなければ使わなかった言葉であると言えるかもしれません。(Y.Y.)

CSI

セブ島とマクタンを結ぶ橋ゴールドバブリッチ (Cebu Cordova Link Expressway) 2019年7月18日着工され、完成予定は2021年8月。セブからマクタンへ行き来する際、ひどい渋滞でしたが、新しい橋の建設により毎日5万台の利用が見込まれています。渋滞が緩和されると予測されています。(K.S.)

SC2

緊急事態宣言延長ほぼ確定。人間社会は瀕死の状況だが、地球環境を見ると空気や水が綺麗になり、野生動物たちが活気づいている。ネコ科を除き、新型コロナで発症するのはほぼ人間だけ。ということは地球にとって新型コロナこそがワクチンであり、人間は……。(M.I.)

SANSHINWest

皆さんは、常日頃、エコドライブされてますか？私は環境に優しくを心掛けて運転しています。発進時のふんわりアクセル、走行中は、加減速の少ない運転、停止時は、早めのアクセルオフエコドライブは、ドライバーの気持ち次第で環境にも優しく、燃費の節約、安全運転と良い事ばかりなので、ぜひ皆さんも日々心掛けて運転してください。(T.S)

SHINKOWA

新型コロナウイルスの影響で、平日・休日の不要な外出を控えておりますが、天気の良い日は、外に出たくなるものです。今一度、緊張感をもって、不要不急な外出を控え、うがい・手洗い・除菌・マスク着用を徹底し、早急なウイルス撲滅になるよう、一丸となって耐え抜きましょう。(M.N.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

在宅勤務、ストレス解消のコツは？

慣れない在宅勤務で、心身ともにストレスをためないようにするために気をつけるべきポイントを紹介します。

■時間の管理はタイマーを使用する

在宅勤務をする際、課題となるのが「時間管理」。自分のペースで進められるため、ちょっとさぼってしまったり、効率が落ちて長時間労働になることも。仕事の効率をアップするためには、「50分集中したら10分休憩」といったメリハリが必要。その時間管理のため、タイマーを使いましょう。

■立ったままの作業、短い散歩もOK

同じ姿勢でパソコン操作を続けることは、首や肩のこり、目の疲れの原因に。オフィスであればあちこち歩くことがあっても、自宅ではせいぜい数歩。屋内や自宅の前で短い散歩をしたり、パソコン作業をする場所を変えてみたりして、座ってばかりにならないように気をつけましょう。

■適度な換気、室温・湿度にも注意を

在宅勤務中は、自宅の室温と湿度に気を配るのも必要です。目につく場所に湿度・温度計を置いておけば、意識する習慣が持てます。時々、換気をしてフレッシュな空気を取り込むことも大切です。

■前かがみは避ける

椅子に座ったまま画面を見つめていると、いつのまにか前かがみの姿勢になってしまいます。腕の重さが首や肩にかかり、コリの原因に。膝にクッションなどを置いて良い姿勢を保つ工夫をしましょう。

一つひとつ環境を整えていかななくてはならない在宅勤務。「がんばりすぎ」にならないよう、注意しましょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

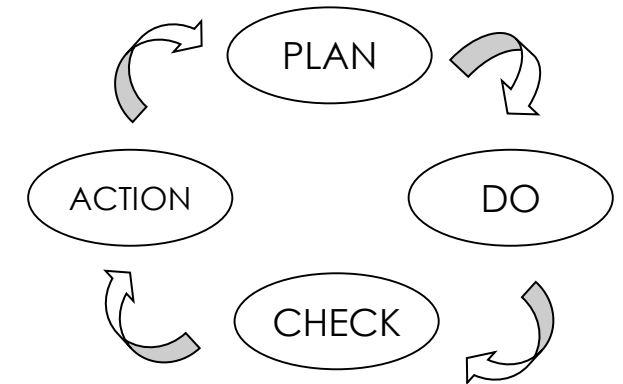
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



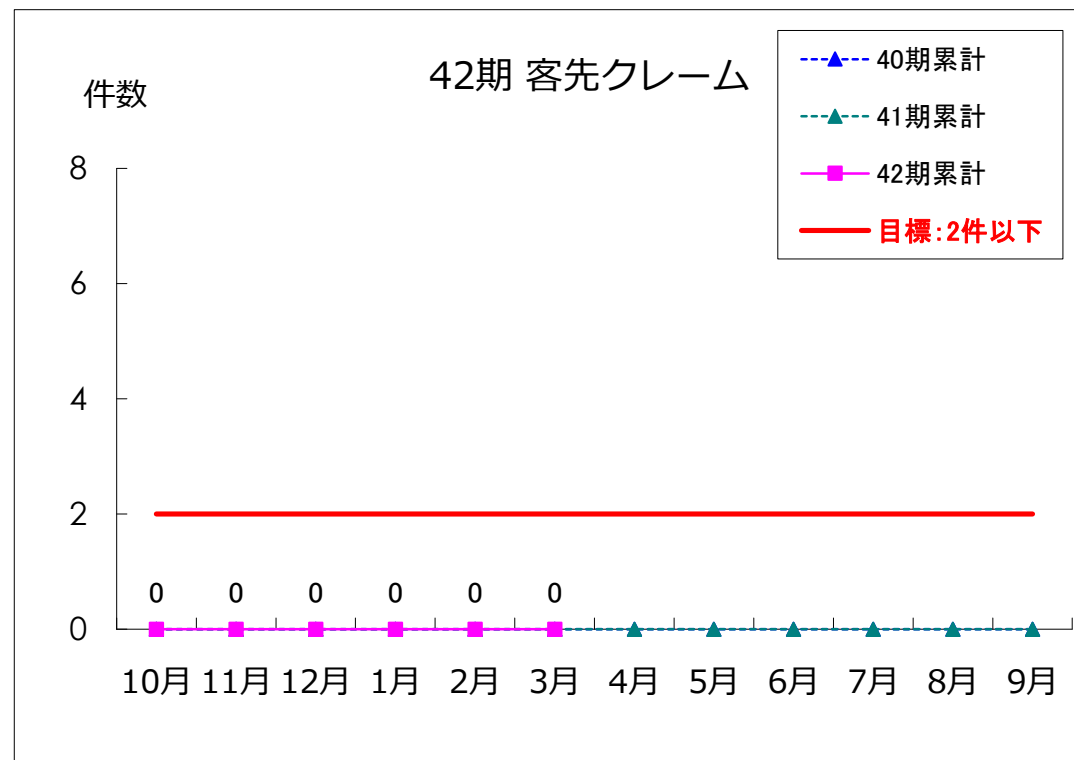
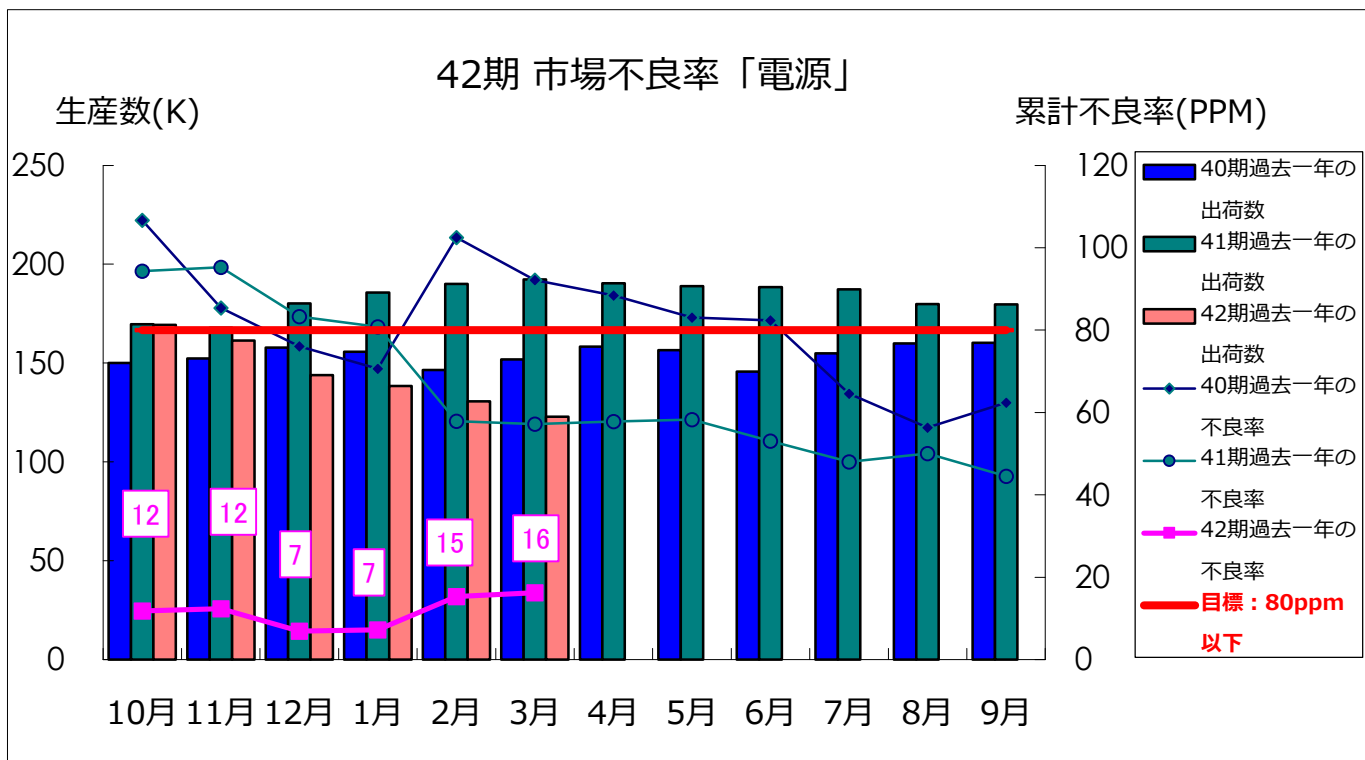
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

42期の累計不良率は、16ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 新型コロナウイルスの消毒方法・勘違いで危険な思いをしないために知っておきたいこと

☑ 殺菌、除菌、抗菌という言葉を見たら要注意

新型コロナウイルス対策（以下コロナ対策あるいはコロナ）として多種の情報、商品が登場していますが、まず気をつけてほしいのがその情報の真贋。少し前に医療情報のまとめサイトがとんでもない情報を流布して問題になったことがありましたが、今、コロナ対策でも同様のことが起きています。悪意なく、正しい知識のない人が勘違いをそのままに書いていることがあり、それを鵜呑みにしてしまうと危険な目にあう可能性があるのです。

情報の真贋を見極める最初の一步となるのが言葉の使い方です。現在、私たち人類が闘っているのはウイルスであり、菌ではありません。細菌は細胞を持ち、栄養を摂取してそこからエネルギーを生産、細胞分裂を繰り返すことで生存、増殖を行っていることから生物とされますが、ウイルスに関しては意見が分かれるところです。細胞がなく、栄養を摂取したり、エネルギーを生産することはなく、自力で動くことも、単体で増殖することもできないため、生物とは言い切れないという説があるのです。

だとすると、そもそも除菌、殺菌、抗菌などという言葉は使えません。菌ではないし、生物でないとしたら殺すことはできません。それを理解せずに書かれている記事、商品紹介に関しては分からない、知らないで書いていることを疑ってみてもよいのではないのでしょうか。

では、ウイルスに対してはどのような言葉が妥当なのでしょう。無難な表現としては消毒があり、もっと的確な言葉としては感染力を失わせる、ウイルスの構造を破壊するという意味で不活化があります。間違っても「殺す」ではないので、その辺りを目安にしてみてもいいのでしょうか。また、これはコロナ対策だけではないが、情報の真贋では一次情報を元に、あるいは信頼できる情報源があって書かれているかどうかを確認することです。今の状況でいえば抑えておくべきは厚生労働省の情報であり、それ以外では大学や一定の信頼がおける研究機関、業界団体などでしょう。

今月のTOPICS

☑ 同じアルコールでもメチル使用はダメ、絶対！

ウイルスには大きく2種類があります。簡単に言ってしまうとエンベロープタイプ、ノンエンベロープタイプで、エンベロープとは封筒のことです。イメージしやすく言うと封筒に入ったウイルスと入っていないウイルスがあるわけで、封筒に入っていないほうが強力で、代表的なものがエボラやノロなどです。今回のコロナは幸いなことに封筒に入ったタイプで、封筒＝「脂質などからなる膜」を破壊すれば不活化できます。そのために役立つ物質がいくつかあり、よく知られているのがエタノール（エチルアルコール）です。

具体的な商品としては手指の消毒用のジェル、スプレー類やキッチンの除菌剤（商品本来の目的は菌対策であるため、一般的には除菌剤と称されています）がありますが、最近はいずれも手に入りにくくなっています。そこで同じアルコールならと「メチルアルコール」を買って空中消毒とばかりにスプレーで噴霧する人が出ていると聞きますが、これは絶対にやってはいけません。

メチルとエチル、非常に紛らわしい名称ですが、この2つは全く別物です。しかも、メチルアルコールは引火性が強く、噴霧したところに引火したら大惨事になりかねません。量などにもよりますが、摂取すると吐き気やめまい、昏睡などの意識障害を起こす危険があり、さらに症状が進むと失明、落命の恐れすらあるのです。

メチルアルコールは「燃料アルコール」として消毒用エタノール、無水エタノールと並べてドラッグストアなどで売られていることが多く、比較的安価なこともあり、「アルコール」という文字に惹かれて購入したくなる気持ちは分かりますが、決して手を出さないようにしましょう。

なお、東京消防庁では消毒用アルコールの取扱いについて、火災などを引き起こす可能性があるとして注意を促す告知を4月17日に発表しています。

今月のTOPICS

☑ 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウムを主成分とした台所用漂白剤）噴霧は危険咳エチケット

住居内で比較的良好に使われている商品のひとつに次亜塩素酸ナトリウムを主成分とした台所用漂白剤（塩素系漂白剤）があります。

厚生労働省のサイトに家族に感染が疑われる場合に家庭内で注意したいことについての解説があり、そこに手で触れる共用部を消毒しましょうという項目があります。具体的なやり方のひとつに『共用部分（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう』とあるため、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とした漂白剤に過度な期待を持っている人がいるようです。

このところ、これを加湿器に入れて空間を消毒しようとしたり、マスクに噴霧して使用するなど本来の使い方と全く異なる使い方をしている人が出ているのだそうですが、これは絶対にやってはいけません。

たとえば次亜塩素酸ナトリウムが主成分の塩素系漂白剤を加湿器に入れるなどして噴霧、口に入ったり、目に入ったりしたとしよう。どうなるか。

公益財団法人日本中毒情報センターの塩素系漂白剤の項によると「飲み込んだ場合は、口の中、のどから胃のあたりまでただれて痛くなり、ついには物を飲み込めなくなる恐れがあります。吐き気や嘔吐も起こします。原液や濃厚なものが眼に入ると、ひどい場合は失明する危険もあります」、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする台所用漂白剤の説明をしてみると、目に入らないように、飲み込んだら、皮膚についたらとさまざまな注意書きがあり、換気の良い場所で使うようになどと細かく注意が書かれているはずです。日常的な品ながら使い方を間違えると身体に重篤な影響を及ぼすこともある薬品なのです。

最近では消臭剤を利用、室内への化学製品の噴霧に慣れている人もいるが、安易に噴霧して空気が消毒できるとは思わないことです。いつもの慣れたスプレー式の洗剤、漂白剤などを使う時にも注意書きを思い出し、適正な使用を心がけて下さい。

今月のTOPICS

☑ 次亜塩素酸水の有効性検証はこれから

次亜塩素酸ナトリウムと混同されているものに次亜塩素酸水があります。これは塩酸又は食塩水を電解することにより得られる、次亜塩素酸を主成分とする水溶液で、2002年から食品添加物として認可されたものです。身近なところでいえば野菜類等の殺菌に使われています。

食品添加物としての評価では菌の種類にもよりますが、次亜塩素酸ナトリウムと同等、優秀となっており、ウイルスにも有効ではないかという期待は当然あります。これまでも消臭、除菌などに使われてきた例もあるからです。

しかし、コロナに対しては2020年4月15日の時点で独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）が有効性評価を行うと発表したところで、有効性について詳細が分かってくるのはこれからです。

また、有効性が分かったとしても前述の通り、食品添加物として使う想定となっているため、噴霧する商品として考えた場合、現状では商品としての基準などが明確ではありません。当然、商品によって内容のばらつきが出ることは十分考えられます。

また、そもそも次亜塩素酸水は紫外線や温度に弱く、長期に保存するのが難しいとされています。期待はしたいところですが、奇跡のように効くとまでは考えられません。不安の中にいる時には誰しも魔法のようにそれを消してくれるものを夢見るものですが、現実にはそんなことは起きるものではありません。地道に今手に入る品で手洗い、消毒、うがいをし、そして外出を自粛。みんなで意識を変えてゆきましょう。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

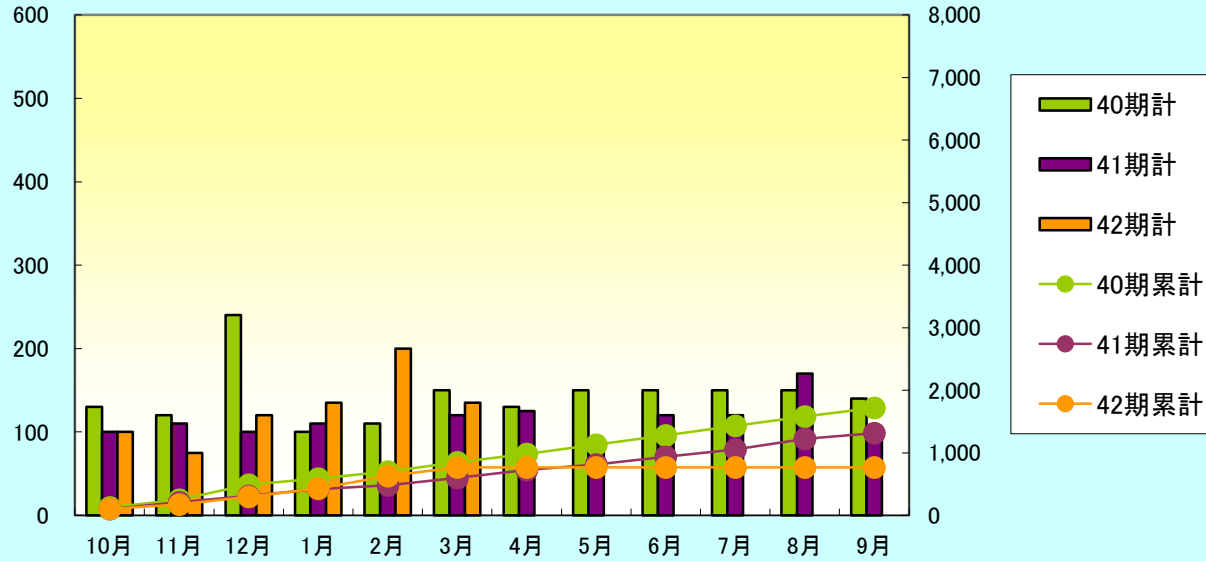
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

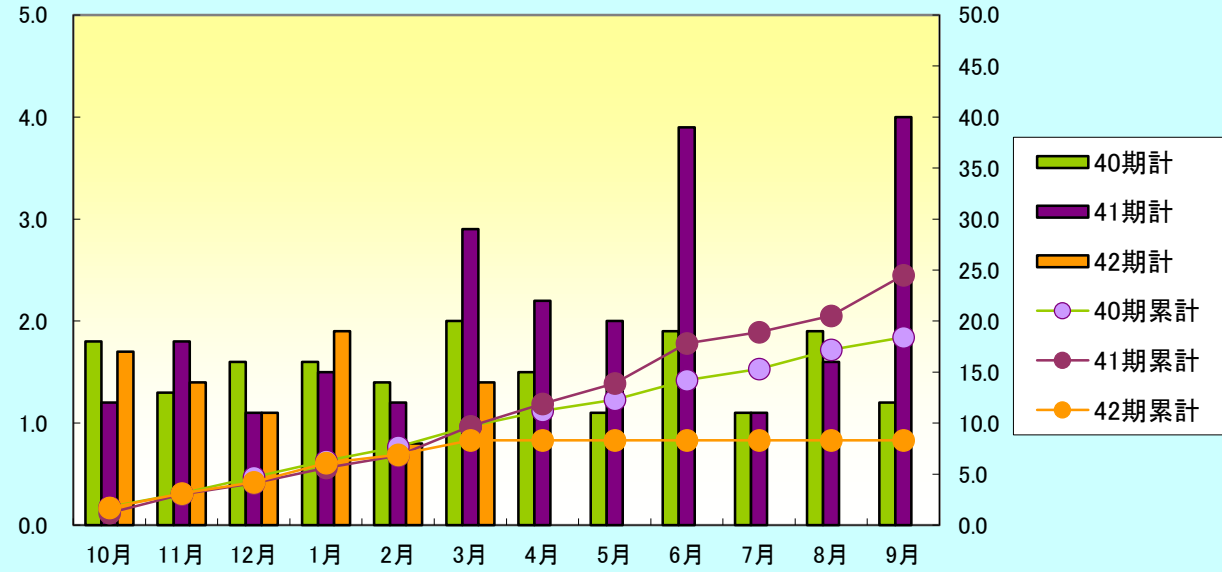
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

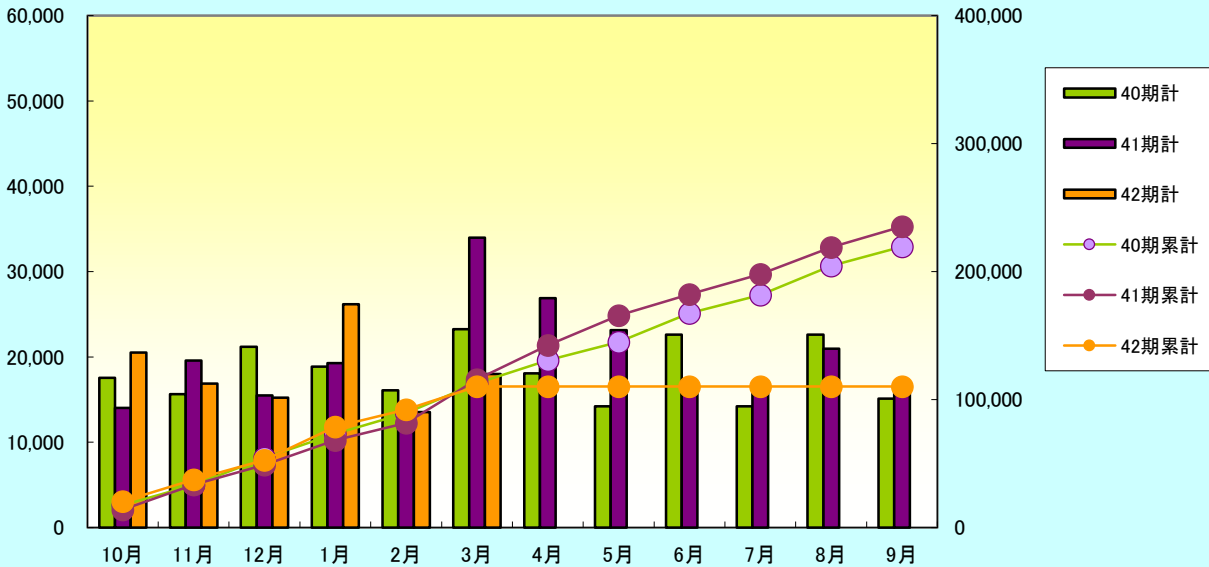
累計/折れ線(m³)



廃棄物処理金額累計

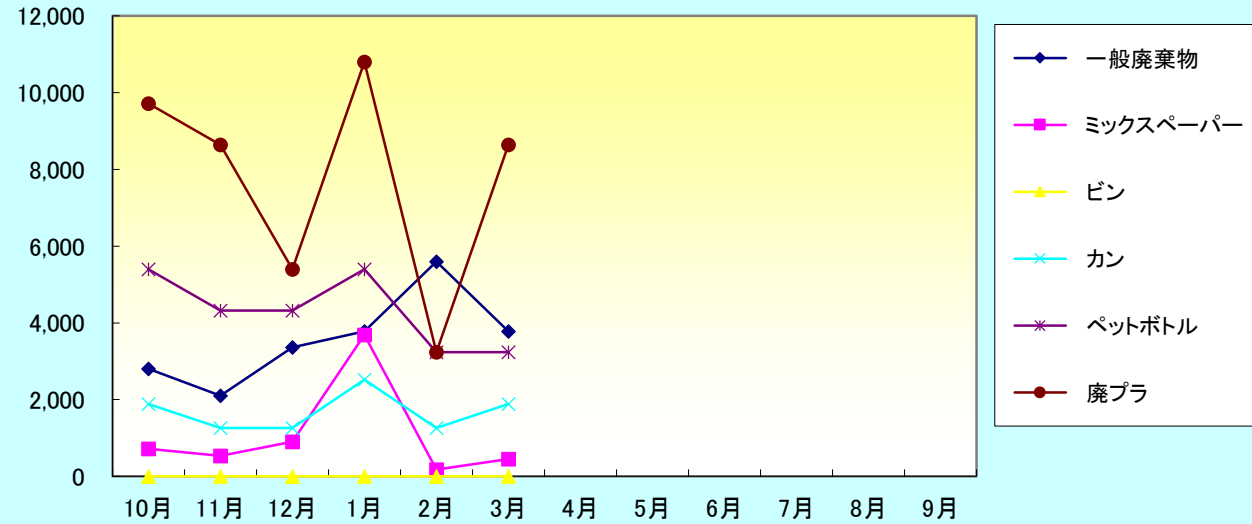
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



41期 廃棄物処理金額

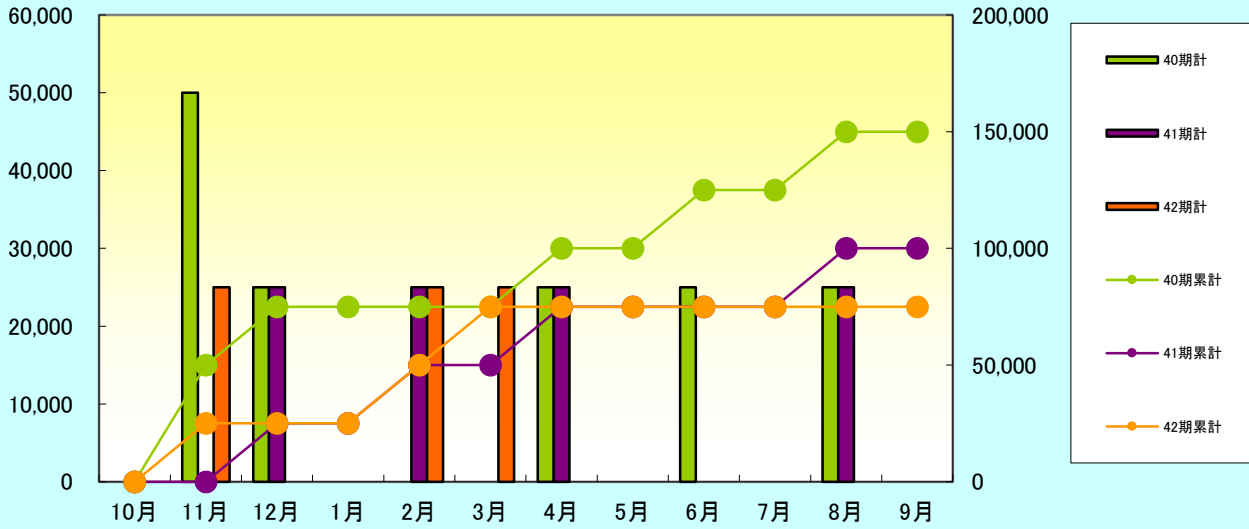
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

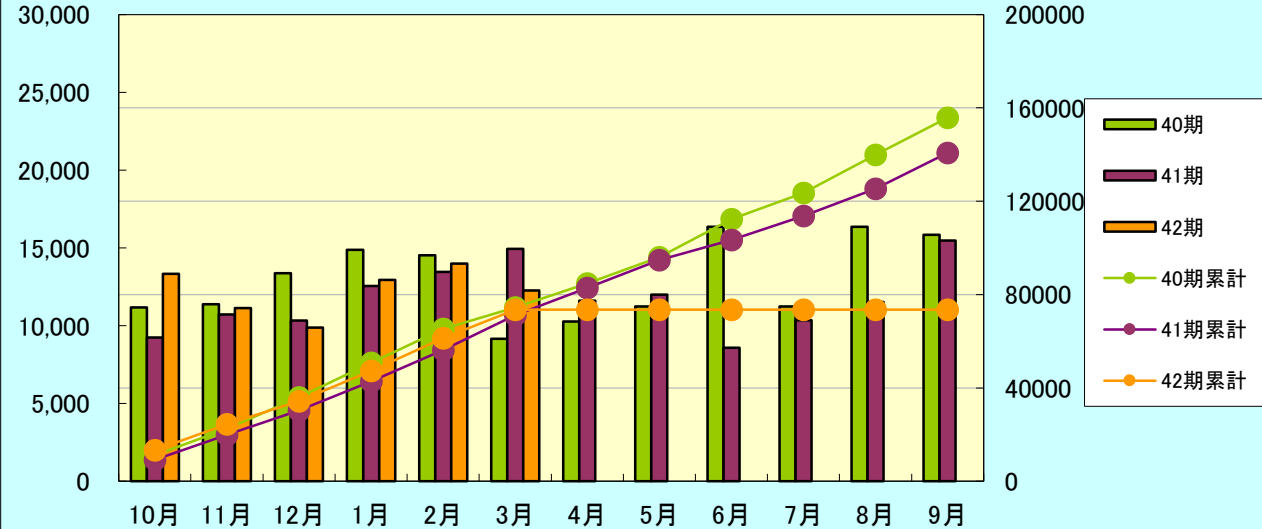
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

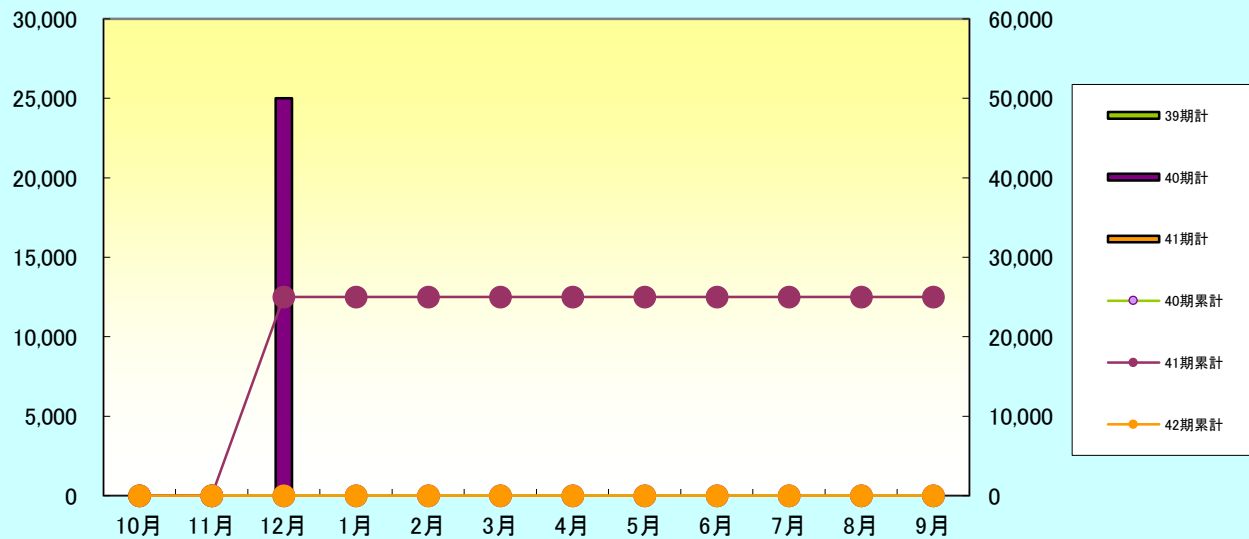
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

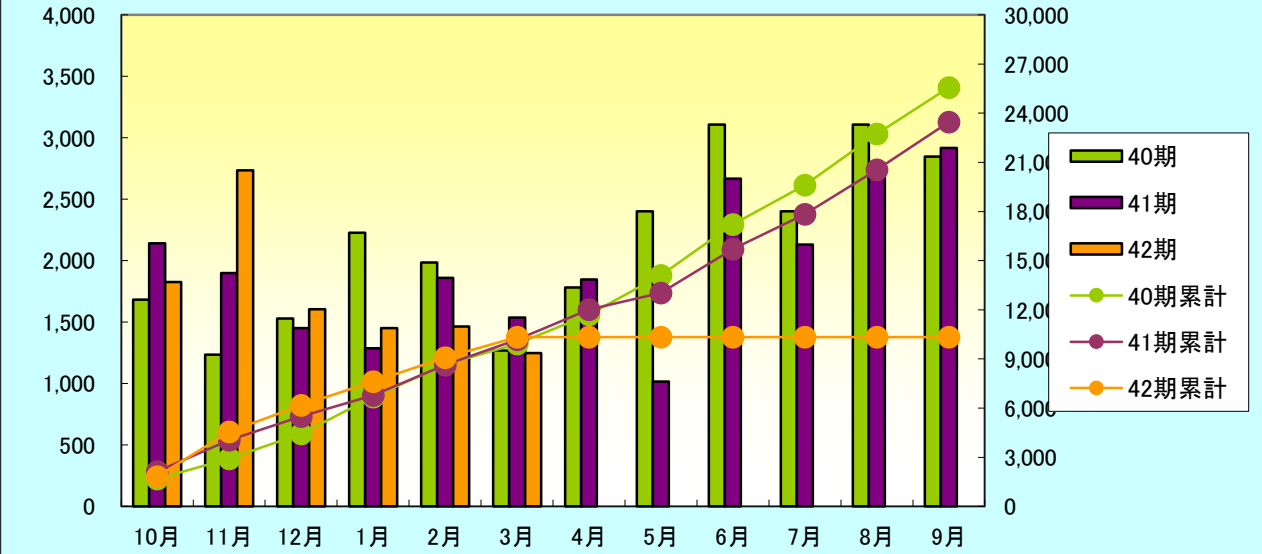
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

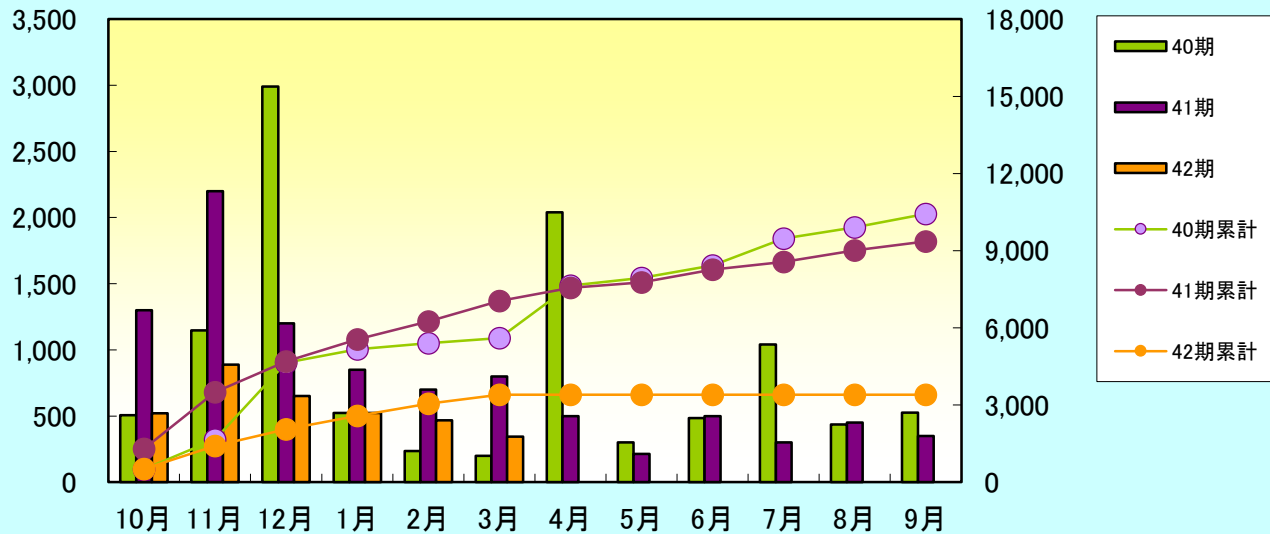
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

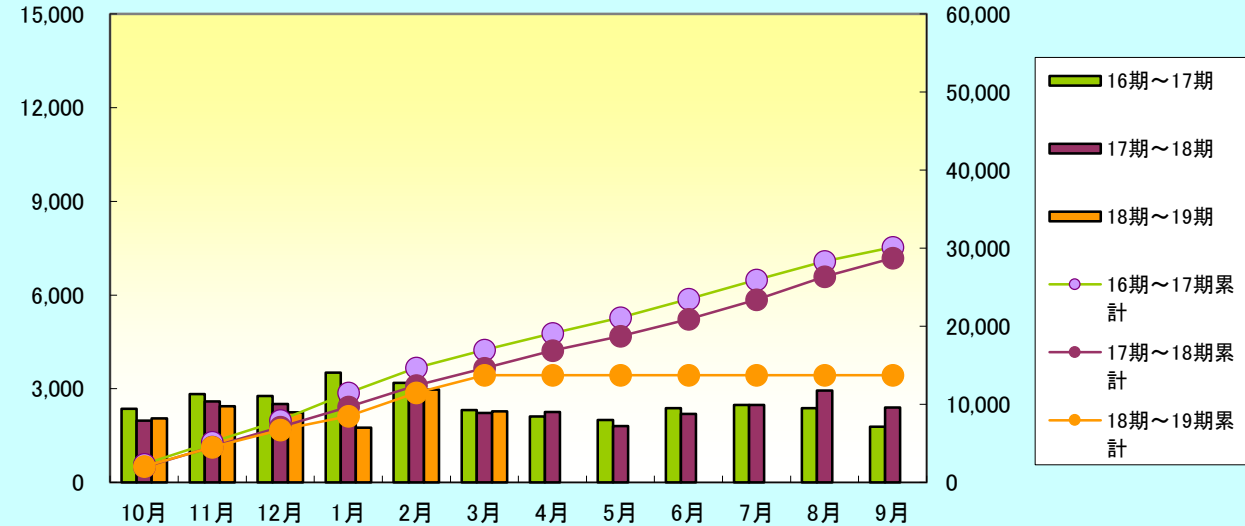
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

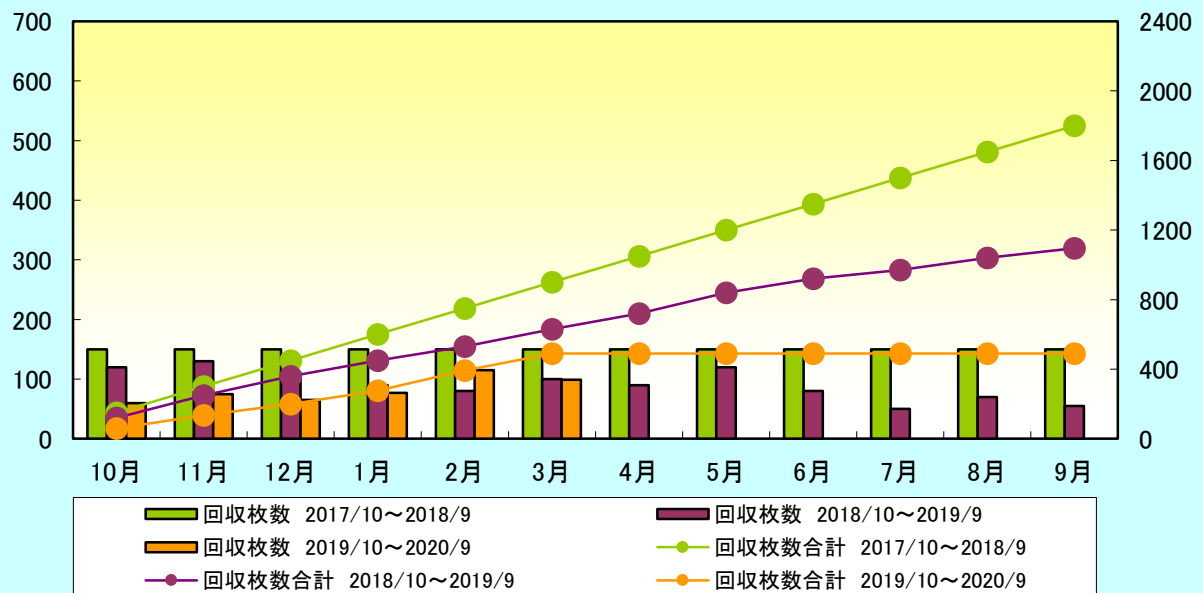
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

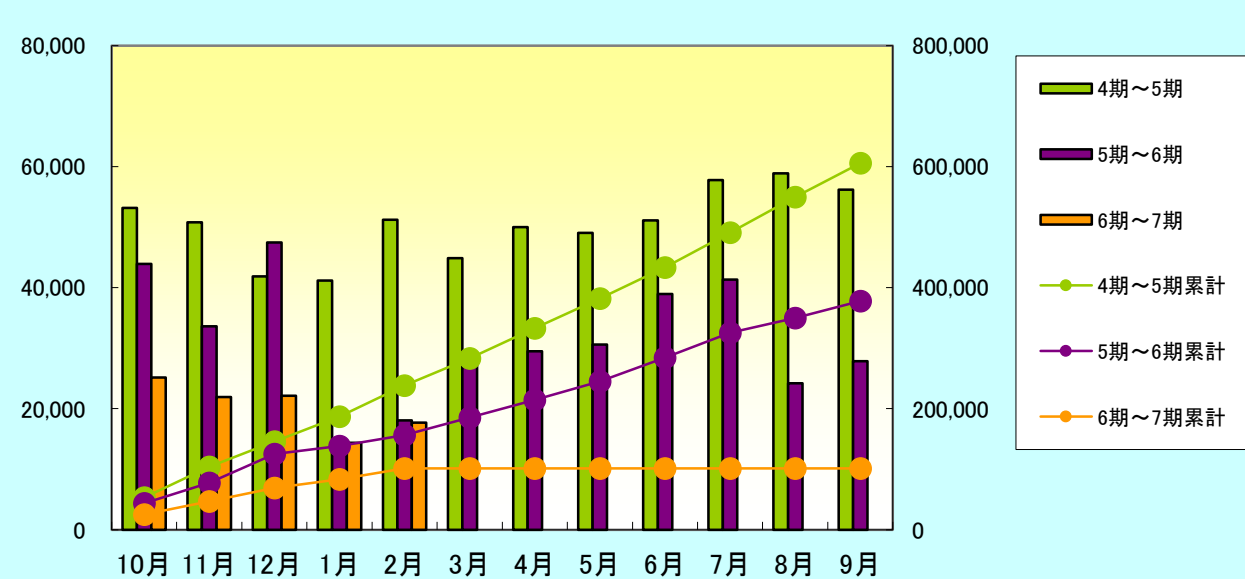
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

● 『SANSHIN大学の2019年度報告』

2019年度のSANSHIN大学は、2020年3月31日をもって、全講座・講義が終了しました。本講座＋英語コースを合わせて、受講者総数は延べ601名となりました（※詳細は弊社HP (<http://www.sanshin-ele.com/SSU.html>)にてご確認下さい）。

2019年度は、ビジネス講座・健康経営講座の更なる充実を図ると共に、e-Learningの継続的活用による自己啓発に力を入れ、e-Learningの受講者数は、前年度の約2倍の301名となりました。また、サンシン電気・本社1Fに新たにカンファレンスルームを作り、各講座・講義を開講致しました。

サンシングループでは、早くからSkypeにより、国内外のグループ会社へ講座配信を行ってきたため、新型コロナ・ウィルス禍にあっても、継続的に各種講座を開講し、受講者の業務に関する知識や技術の向上、マネーリテラシーやヘルスリテラシー等の向上に寄与しています。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（3月参加人数：延べ6名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：さくら飾り

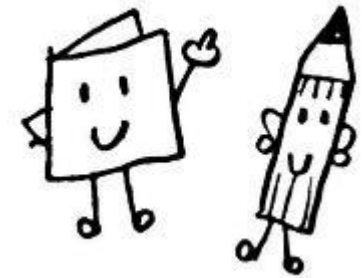


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2019年5月更新）⇒3年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「令和元年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「令和元年度スポーツエールカンパニー」の認定3年連続取得（2017年～2019年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



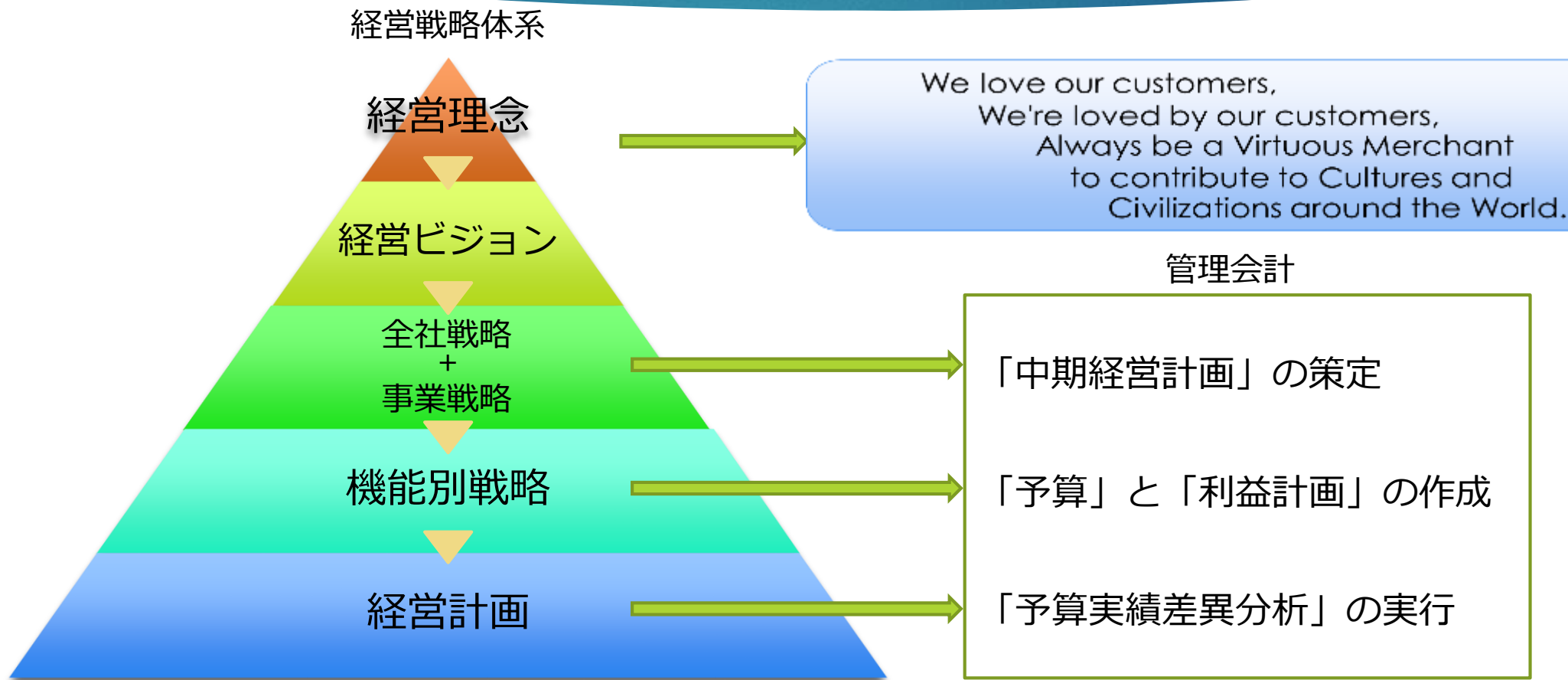
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

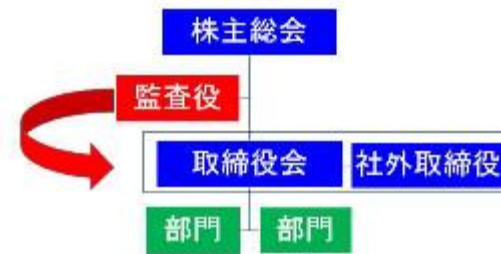
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

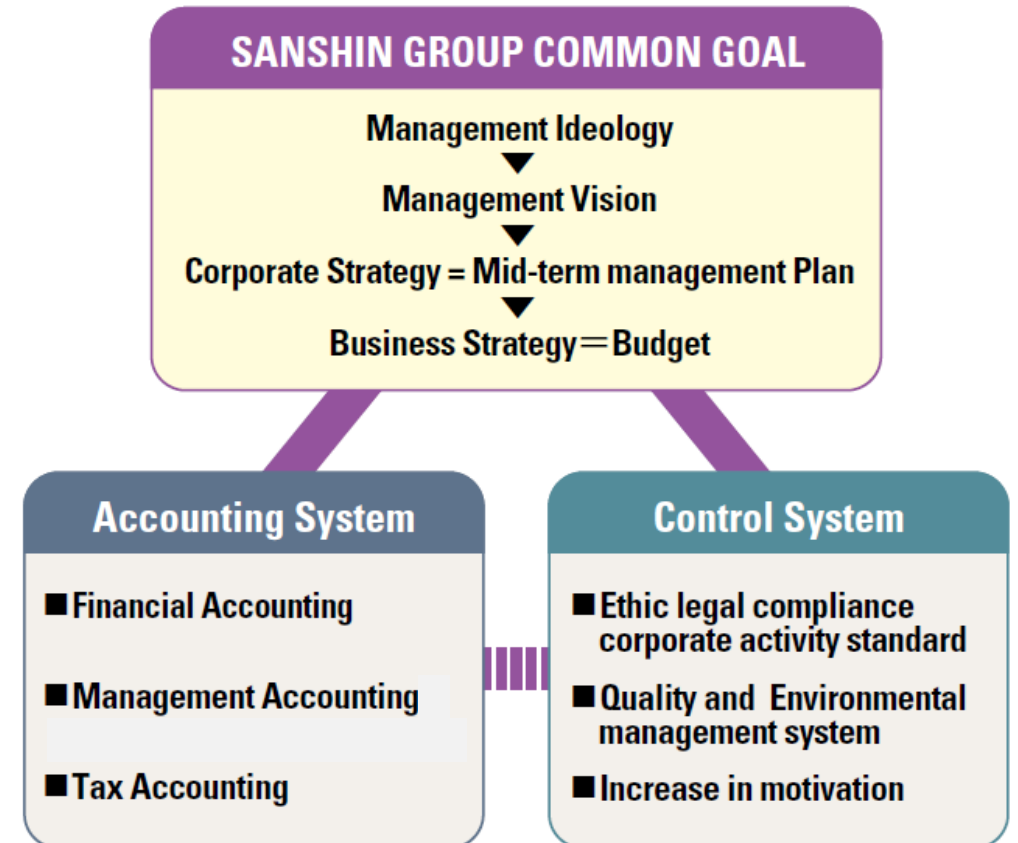
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

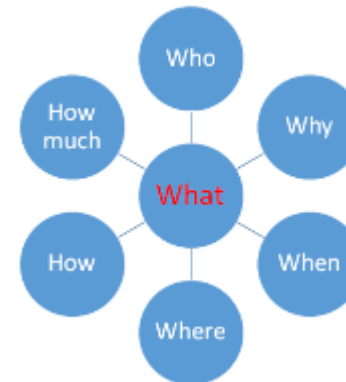
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

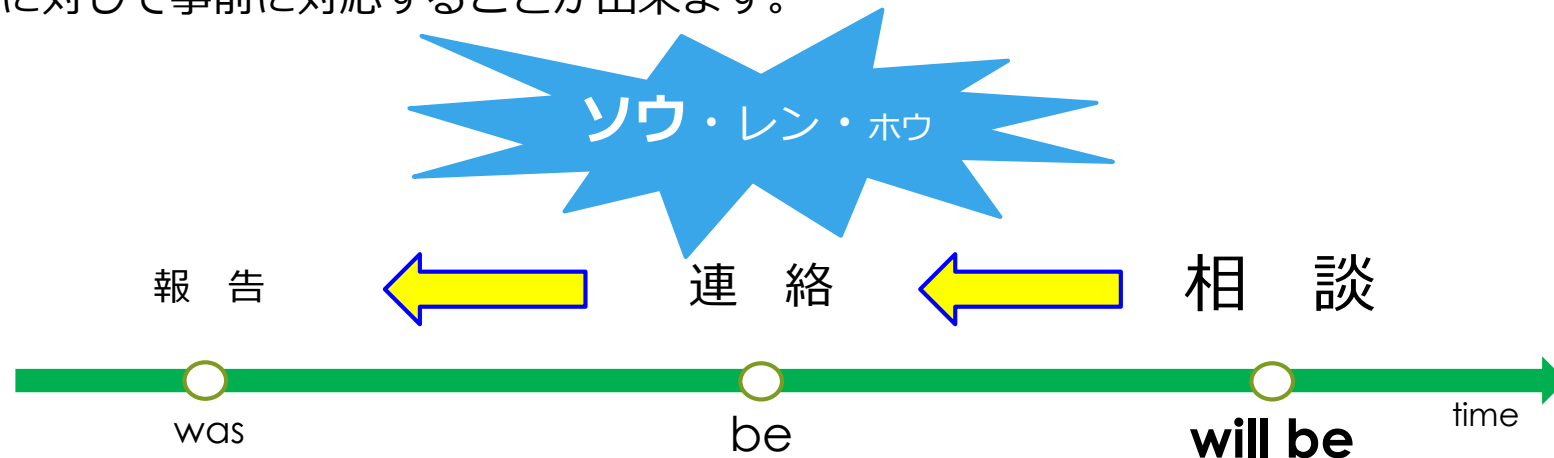


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、私たちの身の回りには関連ニュースがあふれています。新型コロナウイルスに関する情報は拡散しやすく、「インフォデミック」の恐れがあるといえます。インフォデミックとは、ネットで噂やデマも含めて大量の情報が氾濫し、現実社会に影響を及ぼす現象を言い、疫病流行の際には出所不明の情報が広がりやすくなります。悪質なデマに踊らされることのないよう、情報の真偽はしっかり見極めていきましょう。